

（１）各教科の結果・分析の概要 【中学校】

【国語】

- 話し手の立場や意図を考えながら内容を聞く力、事実と意見の関係を考えながら内容を聞く力、話の展開を考えながら登場人物の心情や行動を読み取る力、接続語や慣用的な表現を正しく使う力、学習した漢字を正しく読む力、敬語を正しく使う力などが身に付いている。
- 文の意味を考えて分かりやすい文章に書き直す力、構成に気を付け自分の見方や考え方を深めながら書く力、指示語・比喻表現・情景描写などに注意しながら読む力、漢字を正しく書く力などは、今後一層高めていく必要がある。

【社会】

- 地理的分野では、地域の特色を資料から読み取ったり、適切な資料を選択したりする力、地域の特色や用語の理解などが身に付いている。歴史的分野では、基本的な用語の意味の理解、資料から読み取ったりする力などは身に付いている。
- 地理的分野では、地球上の位置関係を読み取る技能や時差についての理解、地形図の特性を理解し読み取る力などを、歴史的分野では、歴史的な出来事を時代の大きな流れと関係付けて理解する力、資料を使って説明する力などを、今後一層高めていく必要がある。

【数学】

- 正の数、負の数の減法や乗法の計算や分配法則を用いた計算、連立方程式を解くなどの計算技能が身に付いている。また、平行線の性質や二等辺三角形の性質が理解されており、一次関数の値の変化の様子をとらえたり、グラフをかく力も身に付いている。
- 文字式の意味の理解や、複数の演算を含む式の計算技能、関数では表やグラフから式を考える力がやや弱い。文字を用いて表現したり、文字式の意味をよみ取ったり、計算したりする技能や、表、グラフ、式の相互の関係をとらえる力を、今後一層高めていく必要がある。

【理科】

- 身近なセキツイ動物の種類と特徴などについての基本的な知識や理解、光の屈折を身近な現象として適切にとらえるなどの科学的な思考や観察・実験の操作の意味や留意点に関することなどについては、おおむね身に付いている。
- 身近なもので二酸化炭素を発生させる方法を説明するなどの実験方法を企画する力や複数の条件を加味しながら考える力、結果をもとに考察したことなどを表現する力については、今後一層高めていく必要がある。

【英語】

- 「理解の能力」は自然な口調で話された英語から、文章の具体的な内容や大切な部分を聞き取る力や、ある程度まとまりのある英文について、いくつかの情報を整理して正しく読み取ったり、大まかな内容や大切な部分を読み取ったりする力は、安定した力として身に付いている。
- 会話の流れから相手の意向を理解し、状況に応じて適切に反応することができる力や、伝えたい内容が読み手に正しく伝わるように適切な表現を用いて書く力、一つの話題について読み手を意識しながら、まとまりのある英文を書く力などは、今後一層高めていく必要がある。